

エチレン発生資材を用いた薬用樹木カギカズラの収穫後調製技術

利用対象：植木・薬用作物生産農家、普及指導員

背景

アカネ科のつる性薬用樹カギカズラのカギ付枝は、アルカロイドを主成分とする生薬として鎮痙・鎮痛等の作用を有する。高齢化社会を背景に、漢方薬としての国内使用量は年々増加している。一方、カギカズラから生薬を得るには枝から葉をすべて除去しなければならず、多大な労力が必要となっている。

エチレン発生資材を用いた省力的な葉除去技術を開発



- ステンレスパイプ、農業用ビニール等で製作する装置（幅 1.8×奥行 1.8×高さ 2.0 m、写真中央）にカギカズラの収穫枝を入れ、エチレン発生資材（商品名：エチレンライト）とともに1週間密閉処理することにより、**9割以上の葉を落葉処理することが可能**です。
- カギカズラ収穫枝の葉の除去にエチレン落葉処理を導入する省力調製法は、**手作業と比較して葉の除去作業時間を8割以上削減でき、収穫加工調製作業が約2倍に効率化します。**

お問い合わせ先	茶業・花植木研究室 花植木研究課 服部侑 中央農業改良普及センター 山上尚史、櫻井ゆきみ	電話 059-370-4977 電話 0598-42-6705
参考になる資料	https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm （三重農研HP）	